

ウラ でかいぼう
イケ ちっこいぼう

『らんぼう』
 大沢 在昌著
 角川文庫
 BFオ
 篠崎ほか所蔵

署内最凶最悪の刑事コンビ・ウラとイケが悪を相手に暴れまくる痛快小説。なお、ドラマ「相棒」などは違って人情には篤いですが、暴力に訴えるタイプです。あしからず。爆笑ありしみりみりの全10篇。

検挙率NO.1 and
 被疑者受傷率No.1
 コンビ

通常、刑事はコンビを組まされるものだが、この「凶悪でガラが悪くすぐかっとなる」ウラとイケとはもちろん誰も組みたがらなかったもので、必然的に組むことになる。かくして、署内検挙率ナンバーワン、同時に被疑者受傷率ナンバーワンコンビが結成されたのだった。

シャーロック
 あいぼう【相棒】
 ①一つの驚籠や眷などを一緒にかつぐ相手の者。相肩。
 ②ともに事をする人。なかま。「仕事の一」【岩波書店 広辞苑第五版】

ドン・キホーテ
あいぼう
相棒
 ~いつも近くにあなたがいた~

あなたには、**相棒**と呼べる人がいますか？
 「いないです……」
 と思っている人は、冷静に周囲を見回してみましよう。きっと、あなたの近くに相棒となりうる人がいるはず……。今回は、相棒をテーマに本を集めてみました。ぜひ、ご参考に！

グレルガイドの
 覆面調査員
パンブルームス氏
ポムフリット 元警察犬

『パンブルームス氏のおすすめ料理』
 マイケル・ポンド著
 創元推理文庫
 B933ホ
 篠崎ほか所蔵

グレルガイドの覆面調査員パンブルームス氏と彼の愛犬は、あるホテルレストランの味を調査しに訪れたが、何故か命を狙われるはめに。料理の鑑賞が楽しいとほけた味わいのミステリー。

パンブルームス氏は元バリ警視庁の刑事。警察犬だったポムフリットは老犬ホームに送られる瀬戸際に彼に引き取られたのだった。グルメなパンブルームス氏と、料理とワインに一家言持つグレル犬ポムフリットは、愛情と共感の絆で結ばれているコンビである。

違いのわかる一人と一匹

ツヨシ 小学生
マコト 小学生

『くちぶえ番長』
 重松 清著
 新潮文庫
 BFシ
 篠崎ほか所蔵

ツヨシのクラスにマコトという女の子が転校してきます。2人は学校で起こる様々なことを一緒に乗り越えていくうちに最高の相棒となっていきます。懐かしい気持ちになれる友情物語。

大人になっても
 忘れることのない相棒
 と過ごした
 一年間

ツヨシにとってマコトは自分にはないものを沢山持っている存在でした。マコトと一緒にいることでツヨシは人を助ける勇氣、いじめっ子に立ち向かう強さなど多くのものを得ます。離れ離れになってしまっても、いつも心の中にある真の相棒の姿が描かれている作品です。

友情と信義の
 固い絆で結ばれた
 二人の名将

大谷吉継 関ヶ原に散った仁将
石田三成 主家に殉じた義将

『大谷吉継と石田三成』
 工藤 章興著
 PHP文庫
 BFク
 篠崎ほか所蔵

家名の存続と自己の生き残りのため、裏切りや暗殺が横行していた戦国時代。そんな戦国乱世に別領の友の契り結び、友情と信義を貫き通した大谷吉継と石田三成の物語。

同郷で同時期に秀吉に仕え、互いに切磋琢磨しながら、身を粉にして働いた吉継と三成。義を重んじるため融通の利かない三成は家中で孤立する。そんな三成を常に気遣う吉継。固い絆で結ばれた二人は、秀吉の死後に天下簞奪を狙う家康に対し、利害を捨て勝算のない戦いを挑む。

斎木 警部補
梢田 平刑事

『しのびよる月』
 逢坂 剛著
 集英社文庫
 BFオ
 篠崎ほか所蔵

元小学校の同級生、今は御茶水水着生活安全課の上司と部下の斎木と梢田。朝から晩までいがみ合いながらも、お茶の水界隈の事件解決に乗り出すユーモアミステリー。

なんだかんだ言っても仲良し！

斎木 警部補
梢田 平刑事

『しのびよる月』
 逢坂 剛著
 集英社文庫
 BFオ
 篠崎ほか所蔵

梢田の上司は昔いじめた秀才の斎木。昔の恨みを晴らすべく、ことある毎に梢田の出世の邪魔をする斎木、やり返す梢田。角突き合わせてばかりの二人だけれど、時に将棋をしたり二人きりで同窓会をしたりして、意外に気の合う二人なのです。

無神経中年刑事
 VS
 美人車いす刑事！

パウダー 警部補
フリートウッド 部長刑事

『刑事の誇り』
 マイケル・Z・リュウイン著
 ハヤカワ・ミステリ文庫
 B933リ
 篠崎ほか所蔵

周囲から軽視されている失踪人課。その長であるパウダー警部補は、「刑事の誇り」を持って、事件解決を目指す。「夜勤刑事」に続く、信念の男・パウダー警部補シリーズ第2弾。

デリカシーのない言動を繰り返すパウダー。それを快く思っていないフリートウッド。こんな状態で、彼女は彼の相棒になれるのか？
 ご心配なく。彼女は彼を理解し、ちゃんと相棒になります。しかし、これが現実の世界ならば？ そうはいかないでしょうね、きっと。

きりこ 少女
ラムセス2世 飼猫

『きりこについて』
 西 加奈子著
 角川文庫
 BFニ
 篠崎ほか所蔵

コンプレックスを持つ主人公が飼猫に支えられながら自分と向き合い、周囲と触れ合うことで本当の自分を探していきます。乱暴で荒々しい表現もありますが力強く優しい作品。

きりこが拾った猫は
 人間の言葉を話す
 賢い猫でした

きりこにとってラムセス2世は、外見にとらわれずに一緒にいてくれる最も信頼できる存在です。きりこが引きこもっている時も、外へ出る決心をした時も、ラムセス2世はずっときりこのそばにいました。どんな状況でも味方でい続ける相棒の姿は印象的です。

最強の武人と最強の
 牝馬、人馬一対の
 痛快コンビ！

魔羅賀平助 陣借りもの
丹楓 緋色毛の牝馬

『陣借り平助』
 宮本 昌孝著
 祥伝社
 F三
 篠崎ほか所蔵

決まった主を持たず、傭兵として戦地へ赴く陣借り平助と魔羅賀平助。その実力は百万石の価値があると評される。陣借りものとして戦国武将と邂逅し、歴史的事件に関わっていく歴史浪漫小説。

平助の相棒は彼を愛する牝馬の丹楓。平助だけでも強いのに、人馬一体となると鬼神の如き強さを発揮し、戦場で縦横無尽の活躍をする。一方、平助は戦場以外では丹楓に乗馬せず、荷も積まず、逆に馬具を持ってあげる溺愛っぷり。戦を求めて、旅をする陣借りもの平助にとっては欠かせないパートナーです。

相棒は、ミステリー
 大好きイケメン
 中学生

伊藤双葉 家庭教師
瀬川隼人 生徒

『先生と僕』
 坂本 司著
 双葉文庫
 JFサ
 篠崎ほか所蔵

怖がり＆ネガティブ大学生、双葉がひょんなことからやることになった家庭教師の生徒はミステリー好きの中学生。そんな2人がちょっと変わった「日常の謎」に挑む連作短編集。古今東西のミステリー講義もあります。

語り手でもある主人公は、
 人が殺される小説なんて絶対
 読めない！ というほどの極度の
 怖がり。それなのに家庭教師
 の生徒が大のミステリー好き
 というくはぐコンビなのです。
 読んでいると思うず「どっ
 ちが先生？」と問いたくなるよ
 うなミスマッチ感が面白いです。

奇妙な二人による、
 ひとつではない
 相棒関係

ウラディミール 浮浪者
エストラゴン 浮浪者

『ゴドーを待ちながら』
 サミュエル・ベケット著
 白水社
 952へ
 篠崎ほか所蔵

二人の浮浪者が、暇つぶしをしながら、ひたすらゴドーを待つだけという不条理な劇。ゴドーは誰なのかと聞かれた作者は、知っていたら作品の中に書くと答えたとか。

相棒と言うには、お互いに頼りない二人だが、それでも彼らは意味のない気晴らしや口げんかをしながら、ゴドーと一緒に待ち続ける。それにしても、ただ待つだけとは……。しかし彼らは、例えば幸運を待ち続ける夫婦や恋人たちに相通じる相棒関係なのかもしれない。

スタッフのセレクション！
 第30回

『塚原ト伝十二番勝負』
 津本 陽著 PHP文庫 BFツ 篠崎ほか所蔵

主人公の塚原ト伝は実存した人物で、鹿島古流と鹿島神道流を修め、その後鹿島新当流を開き剣聖と呼ばれた剣豪です。食事中に若い頃の武蔵に勝負を挑まれ、鍋のフタを盾に防いだという逸話が有名です(ちなみにこの逸話は史実ではありません)。本書は、塚原ト伝の成長を描いた伝記小説です。話は塚原新右門(後のト伝)が養父に伝授された鹿島神道流を広めるために廻国修行に出るところから、始まります。この旅には従者の左門という剣豪も同行していて、この二人はとても良いコンビなのです。二人

で京都を目指すのですが、その道中はスツパ(忍者)との戦いなど波乱の連続です。京都について新右門は鹿島神道流の名をあげるべく、様々な武者と戦います。戦うごとに剣の腕を上げる新右門ですが、さらなる高みを目指すべく故郷の鹿島に戻り、鹿島神宮で千日参籠の行に入ります。厳しい修行を重ね満願の日に鹿島の神より、「一つの太刀」という神技を伝授されました。そして、それを得た新右門は再び廻国修行の旅に出るのです——。本書の醍醐味は、武者たちが自分の誇りや名譽

をかけて、命を賭して戦うまさに真剣勝負の場面です。実際に剣道をしている著者だからこそ描ける、剣豪たちのリアルな駆け引きが絶妙です。そして常に剣のことを考え、剣の修行を怠らず、生涯剣の道を追求し続けたト伝の剣に対するストイックさが随所に描かれています。読後、人の影響を受けやすい私はト伝のストイックさに触発されて、緩んだ体に活を入れるべく筋トレを始めました。少しでも、剣聖塚原ト伝に近づけるよう日々努力中です。

そのメロディに魅せられて♪
 『オルフ:カルミナ・ブラーナ』
 カール・オルフ作曲 C6カ0807 篠崎所蔵

ドラマや映画、CMなどで耳にするテーマ曲。実はクラシックだったということがしばしばあります。今回ご紹介する曲は、ドラマ『相棒』に使われている曲です。このドラマで使われているのは冒頭「おお、運の女神よ」の部分。荘厳で迫力のある部分ですが、それ以外のところは穏やかで美しい曲です。クラシックという堅苦しいイメージがありますが、こうしたものをきっかけにクラシックの世界へ足を踏み入れてみてはいかがでしょうか。

